

あのね 自分にとって一番大切なものは 自分のいのちなんだよ  
だから すべての他人のいのちが みんな大切なんだよ・・・これは、相田みつをさんの、いのちという詩です。  
一人一人のかけがえのない命を大切にしたいですね。防災週間に、ご家庭でも日頃の備えについて確認してみてください。

<朝会で話した主な内容> テーマ：「防災週間に寄せて」

9月1日は、防災の日です。大正12年のこの日、「関東大震災」が発生し、10万人以上の犠牲者が出ました。台風を多く迎える時期でもあることから、災害に対する心構えを行う日として定められました。8月30日から9月5日までは「防災週間」です。地震、雷、火事、親父。昔から怖いものを表す言葉ですが、親父さんは、怒ると雷を落とすからなるほど怖いと思っていたら、元々は台風を表す大風（おおやじ）であったという説もあるそうです。

学校では、災害に備えた避難訓練をしていますが、地震が起きたらどうするか家の人と話をしていますか。東京防災で紹介している特に重要な10の防災アクションのうち、5つを紹介します。

1つは、水や食品、生活用品など1週間自分たちで過ごせるように蓄えること。2つは、非常用持ち出し袋を玄関の横や寝室など持ち出しやすいところにおくこと。3つは、物を置かない、避難経路をふさがないなど、部屋の安全を確認すること、4つは避難先を家族で確認すること、5つは、家族が離れてしまった時の集合場所や安全確認の仕方などを話し合っておくことです。

皆さんのお家では、もしもの時に慌てないためにどんな備えをしているでしょう。防災週間に一度点検してみてくださいはどうでしょうか。食品だけでなく電池、薬、使い捨てカイロなどにも使用期限があります。誰もがいつでも使えるようにしておくことが大切です。大切な命を守るために、災害から身を守る正しい知識を身に付けて、行動できるようにしてほしいと思います。

<感想>

- 1 地震の時などに備えて、生活用品などを寝室や玄関などに置いておくことよいということを、改めて感じた。何年後かに東京に来る地震にも今から準備をしておいて、いつきても大丈夫なようにしておきたい。学校の避難訓練も今まで以上に頑張りたいと思った。
- 2 私の家ではいつ何が起きても大丈夫な状態ではないので、今日言われたように一週間分の食料などを玄関に準備しておきたいと思います。最近ではミサイル発射ということもあるので、早めに備えたいです。
- 3 地震が起きた時に状況を判断して、冷静に行動したいと思った。自分の命は、自分で守れるようにしたい。
- 4 「東京防災」という本には地震などでどう行動するかが書いてあるから、家族での集合場所を決めておこうと思った。
- 5 自分の命は大切だけど、他人の命も大切です。だから、いざという時にみんなの命を守れるようになりたい。
- 6 何よりも命を大事にして下さい、と言ったので、自分は今まで以上に命を大切にします。あと、どんな災害がきても冷静に判断したいです。
- 7 防災体験を家ではしていないので、家族みんなで体験しようと思います。
- 8 地震、雷、火事、おやじのおやじは、おおやじという意味もあると知って、とてもびっくりしました。ぼくは、校長先生が言ったような意味かと思っていました。災害が起きた時のために、一週間は自分たちで生きていけるようなものを用意しようと思いました。
- 9 親と防災のことを話そうと思った。命は大切だから1秒1秒大切にしていきたい。
- 10 災害が発生した時、玄関、寝室などの近くに物を置いておくことで生存できると知り、やってみようと思いました。

※9月5日（火）には、予告なしの避難訓練を行い、各自で状況を判断して身を守る力を高めています。9月29日（金）には、6年生が救命講習を受け、自分の力に応じて周りの人を手助けする「共助」の力を高めます。